

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	阪南市立図書館	代表者名	加藤靖子
担当者部署	教育委員会事務局	連絡先電話番号	072-471-9000
担当者役職		担当者氏名	
住所	599-0201 大阪府阪南市尾崎町35-3		
		連絡先E-mail	

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	今回は講演はなく、ワークショップのみであったが、前回ワークショップを踏まえたファシリテーションで、多くの意見が発表された。本市で作成中の「阪南市立図書館の今後のあり方」についても、わかりやすく説明されたことで、参加者に図書館の運営に参加しているという意識が生まれたように思った。また、最後のまとめにより、継続的に市民と職員が話し合っていく場の設定ができた。
アドバイザーへの要望事項	機会があれば、継続して関わっていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年1月25日	13時30分	15時50分		140
3-2. 派遣場所	会場名	阪南市防災コミュニティーセンター		最寄駅	南海本線尾崎駅
	所在地	大阪府阪南市下出14-3			
	最寄駅からの交通手段	徒歩3分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	一般市民および職員	48 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	図書館は地域情報の拠点であるとして、30年にわたって図書館運営をしてきたが、利用者は減少しており、市民のニーズに答えきれていない。市民の希望を取り入れた「今後の図書館のあり方(未来プラン)」を考えた上で、将来における図書館の運営手法の検討を行う必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	開館30周年を迎える節目において、図書館を地域情報化の拠点として活性化するための、プラン作成。市民が図書館に求めるものを市民ワークショップ等により聴取し、図書館改革のきっかけとしたい。2回の市民ワークショップで出たアイデアを具体化する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「阪南市立図書館の今後のあり方(案)」について、アドバイスをいただき、案が完成した。今後、図書館協議会等にこの案を提示して、策定まで進めていく。アドバイザーによる講演とワークショップがなければ、市民からこれほど多くの前向きな意見は出なかったと思う。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーのコメントをはさみつつ行われたワークショップで、参加した市民は、図書館の今後を我が事として、考えるようになった。その結果、市民から発表された多くの意見が「阪南市立図書館の今後のあり方(案)」に反映された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	「阪南市立図書館の今後のあり方(案)」	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的な成果物として①事業に係る計画書等を策定できた、と回答しているが、「阪南市立図書館の今後のあり方」(図書館改革プラン)は、策定までには至らず、「案」作成ができた段階である。今後本市の協議会等で策定まで進める予定である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付いたします。(アンケートは参加者48人中の市民参加者37人に対してのみ実施しています。)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今回作成した「阪南市立図書館の今後のあり方(案)」に沿い、ワークショップ参加をきっかけとして図書館を地域情報化拠点とするために活動する市民グループを立ち上げる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

